

2022年4月における評価方法の変更概要

評価方法を次の通り変更しました。

<外皮>

1. 土間床等の外周部の線熱貫流率の計算方法を変更しました。当該変更の前後で評価結果が変わる場合があります。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
 - 技術情報の任意評定に係る算定方法等「定常二次元計算による土間床等の外周部の基礎の線熱貫流率の算定方法」
2. 鉄筋コンクリート造等の構造熱橋部の線熱貫流率の表を追加しました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」付録 C「鉄筋コンクリート造等住宅の熱橋形状等に応じた線熱貫流率」
3. 欄間付きドアや袖付きドア等のドアや窓が同一枠内で併設される場合の開口部の日射熱取得率の計算方法を変更しました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」
4. 日よけの日射遮蔽効果の評価方法を変更しました。当該変更の前後で評価結果が変わる場合があります。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
 - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」付録 A「一般部位及び大部分が不透明材料で構成されている開口部(ドア等)における日よけ効果係数」、付録 B「大部分が透明材料で構成されている開口部(窓等)における取得日射熱補正係数」、付録 D「日よけ効果係数の算出方法」

<照明設備>

5. 照明設備を設置しない場合に一次エネルギー消費量の算定において想定する平均総合効率を下表の通り、変更しました。

表 照明設備を設置しない場合にエネルギー消費量の算定において想定する平均総合効率

室の種類	変更前(2022年3月以前)	変更後(2022年4月以降)
主たる居室 その他の居室	主たる居室に1か所以上照明設備を設置し、かつそれらの照明設備のいずれかにおいて白熱灯を使用している場合の平均総合効率	主たる居室に1か所以上照明設備を設置し、かつそれらすべての照明設備においてLEDを使用している場合の平均総合効率
非居室	非居室に1か所以上照明設備を設置し、かつそれらすべての照明設備において白熱灯以外を使用している場合(すべての照明設備においてLEDを使用している場合を除く)の平均総合効率	

当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。

- 技術情報の第六章「照明設備」

以 上

※「技術情報」とは、国立研究開発法人 建築研究所が公開する「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)現行版」です。
「資料」、「Excelツール」および「WEBアプリ」とは、WEBサイト「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」において公開する入力補助ツール・補足資料です。